

10 「社会に出る」ということ

対象学年：3年生

1. 題材：具体的な将来設計

内容 (3) 学業と進路

オ 主体的な進路の選択と将来設計

2. 題材について

(1) 生徒の実態

明るい生徒が多い学級である。3年生となって互いを理解し尊重し合う態度が十分育っているとと、進路の選択について真剣に考えている生徒は多くいるが、その先の将来設計や職業のことまで考えている生徒は少ない状況である。

(2) 題材設定の理由

中学校卒業後の進路選択が目前に迫ってきた時期では、進学について一人ひとり考えるようになってくる。しかし、その先の職業についてまで考えている生徒は多くはなく、生活や学習が、すべて「受検のため」となっている傾向が見られる。また職業を、小学校の頃に描いていた「夢」ではなく、現実の「目標」として捉えるようになり、現在の社会状況と照らし合わせると、その実現の難しさを実感するようにもなる。

将来の職業について考え、級友の勤労観や職業観を知り、多面的に自分自身の特性を見つめることで、自分を知る機会となることをねらいとして設定した。

3. 指導のねらい

現在の社会状況を理解し、自己の将来を見すえ、職業について真剣に考えて、今後の進路選択や生活、学習において、自主的、自律的に取り組もうとする態度を育てる。

4. 学級活動(3)の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くことなどに関心を持ち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

5. 指導の過程

(1) 事前の指導と生徒の活動

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
	・「わたくしたちの生活と進路 9 生き方を求めて」の、『人はなぜ働くのか?』について話を聞いて考える。	「働く意義」についてしっかりと理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・働くことに関心をもち、身近な問題として捉え、いずれ自分が社会に出て行く際のことを真剣に考えている。 [観察]

(2) 本時の指導と生徒の活動

- ① 本時の活動のテーマ 「社会に出る」ということ
～夢をもって働くために(自分にあった仕事選び)～
- ② 本時のねらい
自分に合った職業について真剣に考え、将来設計に役立てさせる。
- ③ 本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始 5分	1 前時の『人はなぜ働くのか?』を振り返り、本時の活動の流れについて説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の社会状況を伝え、職業について考えていくことの必要性を伝える。 ・厚生労働省の「中卒・高卒・大卒別3年以内離職率」のグラフの資料を使用し、離職の理由についてふれる。 ・本時の活動の流れを説明する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">〈本時の活動の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業分類の理解 2. 職業について考える 3. 班で意見交換 4. 学級で意見交換 5. 感想の記入 </div>	
	2 職業の分類についての説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のテーマを板書する。 ・職業分類表(大分類)を配付する。 	

<p style="text-align: center;">活動の展開 40分</p>	<p>3 職業分類表を見ながらワークシート「自分の生き方・将来について考えよう」を記入していく。</p> <p>4 班内で発表し合う。</p> <p>5 班の代表者が大型テレビを使用し、まとめたものを映して発表する。</p>	<p>・職業体験での学習を思い出しながら考えさせる。</p> <p>・日本の職種は約 28,000 種であることを紹介する。</p> <p>・ワークシート「自分の生き方・将来について考えよう」の3を具体的に書けない生徒は、職業分類表(大分類)の中から興味があるものを選んで記入させる。</p> <p>・ワークシート「自分の生き方・将来について考えよう」の5では資格が必要な例を伝える。また、具体的に書けている生徒を紹介し、キーワードを板書する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・将来の自分を思い描きながら、将来設計をしようとしている。</p> <p>[観察]・[ワークシート]</p> <p>【思考・判断・実践】</p> <p>・具体的な自分の将来像を思い浮かべ、その道筋について考えている。</p> <p>[観察]・[ワークシート]</p>
<p style="text-align: center;">活動のまとめ 5分</p>	<p>6 ワークシート「～感想～」に授業の感想を書き、クラスで発表する。</p>	<p>・他者がどんな将来を思い描いているのかを聞いて、考えたことなどを書かせる。</p>	<p>*【思考・判断・実践】</p> <p>・現在の社会状況について冷静に受けとめ、自己の将来に目を向け、これからの生活について考えている。</p> <p>【観察】・[ワークシート]</p>

*編集委員が実践した際の評価規準は「ゴシック体(太字)」で示しています。他は設定可能と考えられる観点です。

6. 本単元の工夫例(評価方法)

(1) 事前や本時の活動における工夫例

本時のねらいを踏まえ、生徒の様子を観察やワークシートを参考に評価を行う。その際、感想には事前の活動「生き方」の感想もあわせて書かせることで、本時のねらいの「将来設計に役立てる」というねらいに迫ることができる。

(2) 事後の活動における工夫例

事後の学習として、高等学校受検用の面接シートを記入する際に、活用することができる。志望動機などに、将来設計を踏まえた書き方をさせることで成果を知ることができる。

*実践例①

自分の生き方・将来について考えよう！！

○将来設計といえはまず職業！自分が将来どんな職に就きたいのかじっくり考えてみよう！

★ 1 職業分類

1 専門技術職 例 インテリアデザイナー	2 管理職 例 会社役員	3 事務職 例 秘書	4 営業販売職 例 商品仕入係員	5 サービス業 例 エステティシャン
6 保安職 例 プール監視員	7 農林漁業職 例 造園師	8 運輸通信職 例 テストドライバー	9 生産労務職 例 ルートセールス	

★ 2 将来、自分は「こんな人生を送りたい」...

英語圏の国で大きな家で両親と自分の家族でスローライフを送りたい。
↑ 国際結婚

★ 3 私の将来の夢(就きたいと考えている仕事)は...

フランクとする人など、外国の会社・日本語学校の設立。
↑ PyriAで

★ 4 その理由は...

- ・たくさんの国の人々とぶつかりたいから。
- ・フランクは間に自分が入ってフランクすることで様々な国の人達が会話をできるのはやりがいがありそうだと思うから。
- ・日本語学校の設立は日本にはまだ待っているとかんがえているアメリカ人とかにもっと日本のことをしてもいいと思うから。

★ 5 この夢を実現するためには...

フランクとする人 → 聞いた言葉を早くぼんやりするための英語力を身に付ける。
外国の会社 → 様々な国の人とは必ず思うから第二外国語の修得。
日本語学校 → 学校のしくみなどを日本のとアメリカの両方を学ぶ。

*実践例②

～ 感想 ～

前回の「働く意義」と今回の「社会に出る」の感想を自由に書こう！

今まであまりしっかりと将来について考えたことはありませんでしたが、
今回、このように授業で考えてみて、とてつもない不安を感じました。
ですが、改めてじっくりと「働くこと」を考えると意外と知らないことがあり、特に
子供はあまり社会のことを知らないんだと思い知らされました。
また、今回の授業で、未来の自分の為に今なにができるのか、というのを
今一度確認することができ、改めて自分がなりたい職業に向かって
がんばろうと思えることができました。

年 組 番名前

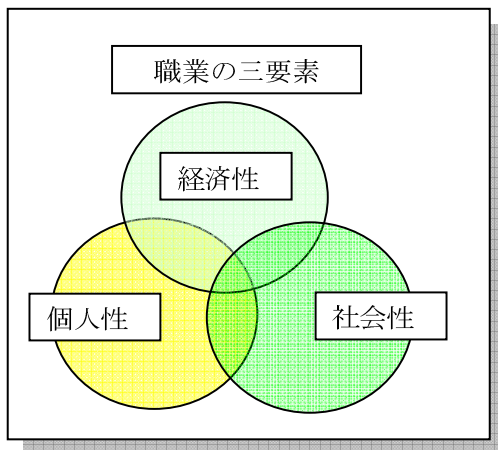
7. 事前と本時に使用したワークシート

- ・事前学習【読み物資料】「わたくしたちの生活と進路（平成25年度版）」
　　＜9. 生き方を求めて『人はなぜ働くのか?』＞
- ・【ワークシート】「わたくしたちの生活と進路（平成25年度版）」
　　＜9. 生き方を求めて『人はなぜ働くのか?』＞
- ・【ワークシート】「自分の生き方・将来について考えよう」
- ・【ワークシート】「～感想～」

事前学習：読み物資料

『人はなぜ働くのか?』

長い人生の中では、社会人として働く時期が大部分を占めます。「働く喜びを知る」ということが、「意欲をもって生きていく」ことにつながります。衣食住を満たすための経済性を求めるだけでは、心身ともに充実した生活を送ることはできません。職業の三要素として「経済性」「個人性」「社会性」があげられます。「経済性」とは、「働き収入を得ることで、生活を支えること」です。「個人性」とは、「目標や生きがいをもちながら、実りあるものにすること」であり、「社会性」とは、「勤労によって社会に貢献すること」です。これらのことを踏まえて、「働く意義」について考えてみましょう。



「経済性」「個人性」「社会性」の3つの側面のどれに重きを置くかは、個々に異なります。また、仕事を続けるうちに、3つの側面のバランスにも変化が生じてきます。職業を選ぶにあたり、どの側面を重要視するかは、今のあなたが将来を見すえながら判断することです。



自分の生き方・将来について考えよう！！

○将来設計といえば、まずは職業！自分が将来どんな職に就きたいのかじっくり考えてみよう！！

★₁ 職業分類

1	2	3	4	5
例	例	例	例	例
6	7	8	9	
例	例	例	例	

★₂ 将来、自分は「こんな人生を送りたい」・・・

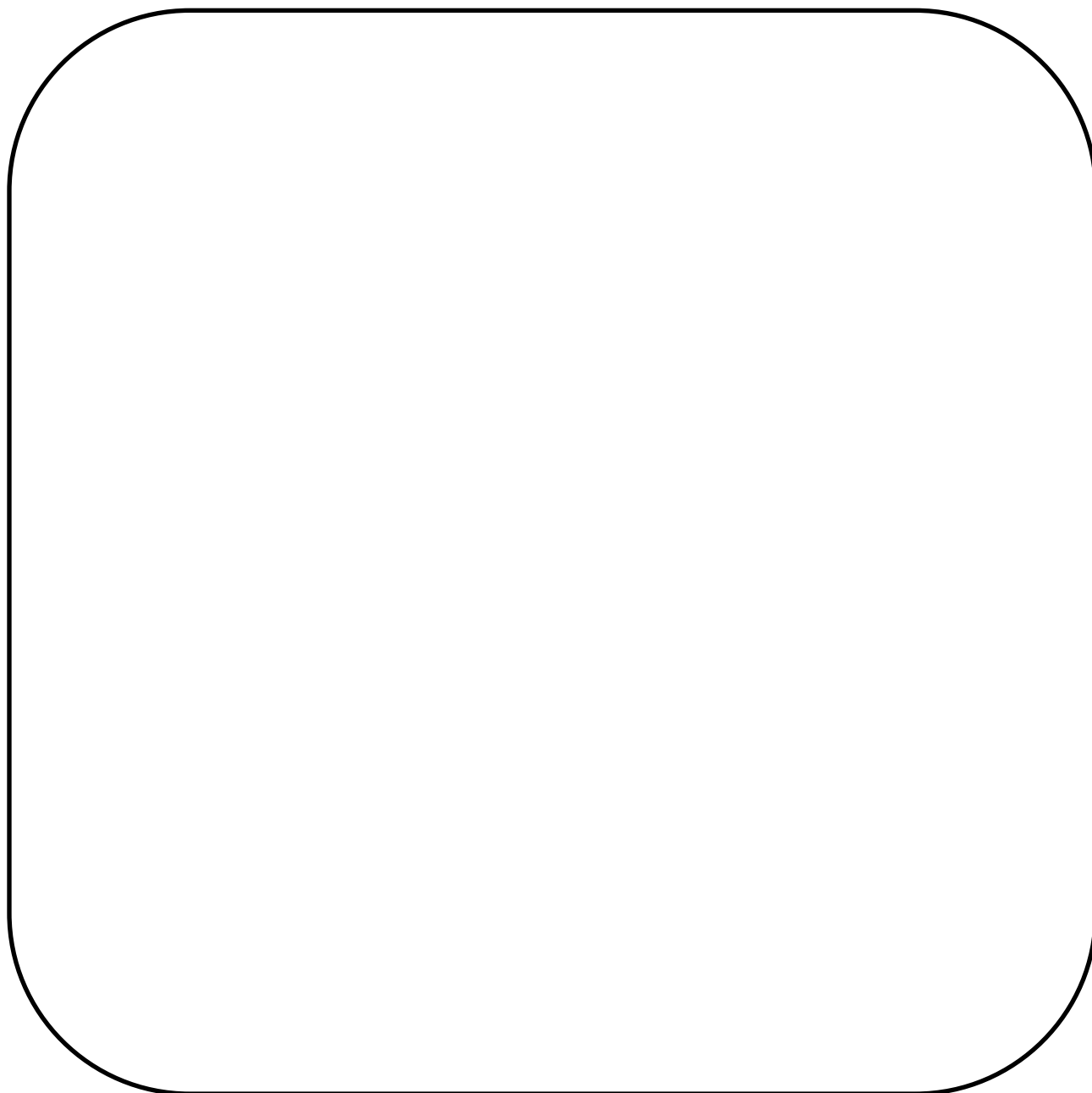
★₃ 私の将来の夢(就きたいと考えている仕事)は・・・

★₄ その理由は・・・

★₅ この夢を実現するためには・・・

～ 感 想 ～

前回の「働く意義の学習」と今回の「社会に出るの学習」の感想を自由に書こう！



年 組 番名前
